

メキシコでは輸送中貨物の盗難事故がしばしば発生していますが、今年に入り件数が急速に増加していますので、今号ではその現状と物流への影響をお伝えいたします。

1. メキシコで輸送中貨物の盗難事故が増加

メキシコにおける輸送中貨物の盗難事故は、2018年1月から3月の間で3,357件に達し、2016年同期比108%、2017年同期比65%の増加となっています。特に、鉄道輸送中の盗難は今年に入り852件発生しており、前年度のおよそ7倍を記録しています。こうした盗難は組織による犯行とみられ、貨物の中でも食品・飲料(全体の約29%)、燃料(約26%)、化学品(約9%)が狙われやすい傾向にあります。2018年5月には犯行グループによると考えられる貨車ブレーキホース切断により貨車が脱線、39両に積載していた穀物が盗難されるという事故も起こっており、盗難による被害額増加、地域住民や経済への悪影響も懸念されています。

昨年、メキシコでは、トラックおよびトラック輸送中貨物の盗難を「連邦犯罪」と認定し、従来よりも重い刑を課す法律を制定しました。一方で、鉄道輸送中の盗難においては上記法律が適用されず、犯罪者が重刑を課されることは少ないため、鉄道輸送における盗難が増加したのと考えられます。

7月1日の大統領選を控え、「危険レベル」にある盗難犯罪の現状に対し、政府に対策を求める声が日に日に強くなっていますが、依然として企業は自主的な防衛策を講じる必要に迫られています。

2. 物流への影響

メキシコの鉄道当局によると、メキシコ国内の鉄道輸送量は2018年の第一四半期で3120万トンにも上り、前年同期比で6%増加しました。メキシコ連邦政府が主要港の一つであるベラクルス港の拡大に取り組むなど、インフラ整備を進める一方、鉄道輸送が7割を占める輸出用自動車部品は犯罪組織のターゲットとなっており、自動車産業のサプライチェーンにおける深刻な問題となっています。現在メキシコへ進出している日系をはじめとするあらゆる産業において、盗難事故の増加および拡大は、今後のさらなる輸送量増加やタイムリーな供給を阻害する要因となり得ます。

3. 弊社グローバルネットワーク ～メキシコ営業・損害サービス体制のご紹介～

メキシコでは、弊社現地法人Tokio Marine Compañía de Seguros, S.A. de C.V.(TMX社)が最適な保険をご案内すると共に、社内の専門エンジニアが事故を事前に防ぐためのサービスをご提供し、輸送中貨物の強盗や倉庫内盗難、火災事故に対するセキュリティ強化のご提案やサポートを行っています。また、近年多くの企業が進出しているバヒオ地区のTMXケレタロ支店に日本人スタッフを配置、メキシコシティ本店にはクレーム・ロスプリベンション専任駐在員を派遣して、お客様へより質の高いサービスをご提供する体制を整えております。メキシコでの保険、事故防止に関するお問い合わせは、弊社営業担当までお願い致します。



【出典】Hugh Morley, 「Mexican cargo theft spike rattles shippers」, JOC.com, 2018年6月1日。

https://www.joc.com/rail-intermodal/mexican-cargo-theft-spike-rattles-shippers_20180601.html

Ivette Saldaña, 「Robo de mercancía en México, en niveles alarmantes」, ESTADOS, 2018年5月23日。

<http://www.eluniversal.com.mx/estados/robo-de-mercancia-en-mexico-en-niveles-alarmantes>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、

本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.htm